

第11章

「職業の選択, 満足, 成功における働く価値と文化的価値の役割」の検討

田澤 実
(中央大学大学院文学研究科)

はじめに(本書の紹介)

- 「Career Choice and development 4th Edition」の11章。
(p465-499)
参考 (Amazon.co.jp)
 - <http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/B000222EOG/qid%3D1122977938/250-6482165-6725051>
The Role of Work Values and Cultural Values in Occupational Choice, Satisfaction, and Success: A Theoretical Statement
(Duane Brown).
- **働く価値や文化的価値が職業選択における満足や成功にどのように影響するのか検討が加えられる。**

0.なぜ価値に注目するのか？

- **働く価値**は、キャリア発達過程において重要な意味を持つ変数である。
- **文化的価値**、特に社会的関係の価値がキャリア発達過程で重要な役割を果たすことが示されてきた。

従来のキャリア研究は、白人、ヨーロッパ中心の見解によるものであるため、多くのマイノリティにおける有用性を制限してきた！

本章で扱う「価値」= 価値システム
個人の**働く価値**や**文化的価値**からなる

3

1.価値システム = 働く価値 & 文化的価値

- **働く価値**とは、仕事役割(望ましい目標状態)へ参加することによって満足を得られると思う価値であり、個人を直接的に目標へと導く
 - **自立**: 自身の決定をし、自分のやり方でものを作る重要性
 - **親密な関係**: 他者に受け入れられていること、含まれていると感じることの重要性
 - **金銭的成功**: お金を稼ぐとか、ものを買うこと的重要性
- **文化的価値**は、一部の文化的集団が典型的に保持している価値として研究されてきた
 - **自己統制**: (思考や感情をコントロールすることは非常に重要, orほどほどに重要)
 - **社会的関係**: (個人は社会単位で最も重要である or 個人の関心よりも集団の関心が重要である)

4

1-1. 価値とは？

- 価値は、ある意味でBanduraの結果予期に似ている。しかしながら、人間の価値は結果予期よりはるかに強固に構成されている。
- 価値は結果予期とは異なり、意識されないで作用したり、「結晶化」や「優先順位づけ」の過程において意識化されうる。

価値が結晶化される時……個人が価値を特定し、それが自分の行動にどのように影響を与えるのか説明できる時。

価値が優先順位をつけられる時……個人が相対的な重要性という面から価値を高い順に並べることができる時。

5

1-1. 価値とは？

- **最終的に、価値は行動を正当化する基礎を提供する**

(Rokeach, 1973)。

もし、最高経営責任者が、人の不幸というコストを省みず、財政をより優先させているのであれば、株主の株価を増やすという名目で数千人を一時解雇することを正当化するのは比較的たやすい。



6

1-2. 価値が変化するとき

1. 熟慮 (contemplation)

自分に似ていると知覚されたモデルを観察してから、始まることが多い。その結果、新しい信念の考慮をもたらす。

- **個人主義的な社会価値をもつ者**・・・これらのフィードバックの源、つまり、内的(個人内の)フィードバックが最も影響力を持つ情報源となる。
- **集団的な社会価値をもつ者**・・・両親、年長者、名付け親などから賞賛された外的フィードバックが最も影響力をもつ。

2. 葛藤 (conflict)

新たな文化に参入者が、支配的な文化の価値を受け入れる文化変容が例。文化変容は、自分の信念と、自分を取り巻く人々との間における絶え間ない葛藤によるものである。

- *ヨーロッパ中心の価値を基礎にした学校に転校させられたメキシコ系のアメリカ人が、メディアを通して支配的な文化の価値に毎日晒されて、ヨーロッパ中心の価値をもつ仲間と交流しあう様子を考えてみてほしい。*

7

2. 価値の役割 *命題を部分抜粋*

【命題1】

- **働く価値が結晶化して、優先順位づけがされるのであれば、優先順位の高い働く価値は、個人主義的な社会価値をもつ人のキャリア選択において最も重要な決定要因になる。**
- **以下のような場合、自分がもつ働く価値によって自発的に行動していると感じる。**
 - － その価値をもつ事によって満足を得られる職業上の選択肢が少なくともひとつは利用可能な場合
 - － より優先する選択肢を実行するのに、利用可能な金銭的支援がある場合。

8

2.価値の役割 *命題を部分抜粋*

【命題2】

- 個人が集合的な社会価値をもち、同じ社会価値をもつ家族や集団の出身である者は職業上の意思決定過程において、その集団や家族成員の意見に従う、または、強い影響を受けるであろう。
- その結果、職業選択は個人主義の社会的価値を持つ者よりも、個人の働く価値に影響を受けないものであり、主体的な職業選択をしないものになるであろう。

9

2.価値の役割 *命題を部分抜粋*

【命題8】

職務満足を得るために重要な順

- **個人主義的な社会価値をもつ者**
 - (1) その職業において強化された価値と個人の働く価値の一致
 - (2) 仕事役割とその他の役割の間で発生する葛藤
 - (3) 両親、配偶者、友人などの他者に応じた仕事役割の承認。
- **集合的な社会価値をもつ者**
 - (1) 両親、配偶者、友人などの重要な他者からどれほど仕事役割の承認を受けているか
 - (2) 仕事役割とその他の役割の間で発生する葛藤
 - (3) その職業において強化された価値と個人の働く価値の一致

10

3.実践への提案

- **キャリアカウンセラーに必要な備え**
 1. クライアントが職場で求められていることに沿った価値に慣れ親しむことができるように支援すること
 2. ヨーロッパ中心的な職場において、自分もつ価値のせいで成功を遠ざける破目になる可能性を特定すること
 3. 場合によっては、クライアントがヨーロッパ中心的な職場に順応している間にも、自分の文化的価値を保持し続けるように促すこと。
 4. 支配的な価値に馴染まない価値をもつ者が成功するように職場変更を勧めること

11

3-1.カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定1】

- **意思決定者は、決定をする者であり、選択を実行する者でない可能性がある。**

キャリアカウンセラーは、クライアントには、キャリア選択の際に、両親、名付け親、他の者に主要な役割を与えようとする者もいることを予期しなくてはならない。

意思決定者という用語は、必ずしも、私たちが「クライアント」として伝統的に見なしているものを指し示すわけではない。

【仮定2】

- **特定されたクライアントが、依存した意思決定者であり、その依存が集合的な社会価値から生じるならば、両親や拡大家族の成員もキャリアカウンセリングの過程で関わるべきである**

12

3-1. カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定3】

- 職業選択は、より広い決定の一部である; ライフスタイルの選択とその過程は、このようなライフスタイル・デザインの文脈において組み込まれるべきである。

【仮定4】

- 自立した意思決定者に対する私の主要な関心は、普段結晶化されず、価値の優先順位もない状態から、結晶化することや価値の優先順位をつけることを促進することである。

13

3-1. カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定5】

- クライアントは自立した意思決定スタイルをもっているが、その家族が、集団の意見を取り入れて決定を焦点化すべきだという考えをもつ場合、私はキャリア決定に関して、以下の二つの影響の通訳者にならなくてはならない。

文化的価値の影響

文化的価値を彼らがどのように認知しているのかという影響

【仮定6】

- キャリアカウンセリングの技術は、意思決定過程においてクライアントとその他の者を含みこんだ文化的価値に適合したものでなくてはならない。

非常に高いレベルの思考や感情の自己開示を必要とする技術は、自己統制の価値が非常に発達した意思決定者に対しては用いないようにすべき

14

3-1. カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定7】

- 文化的価値が職場において求められていることと対立するときに用いられるアプローチには二つある。
 1. 二つの文化をともに採用する受容性の考えが探られるべきである。つまり、成功のために、職場の価値を採用しつつも、そのほかの生活役割において伝統的な価値を採用するというものである。
 2. 職場のクライアントが、異なる価値システムをもつ人々を受け入れる可能性を高めるように提唱する。

15

3-1. カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定8】

- 葛藤している価値は特定し、解消させなくてはならない。クライアントの価値システムは葛藤を含んでいることが多い。

集約的な社会価値をもつ家族がいて、青年期にヨーロッパ中心の価値を持つことが多い若いクライアントは、文化変容のために、個人主義の社会価値を採用し始めることがある。

多くのキャリアカウンセラーは、自分自身の金銭的成功の価値と他者への価値の葛藤に気がつく。なぜなら、キャリアカウンセラーにとって、利用可能な仕事の多くがたいした金銭的報酬を得られないためである。

16

3-1. カウンセリングにおける9つの仮定

【仮定9】

- 長期的なものであれ、短期的なものであれ、キャリアの機能を制限するメンタル・ヘルス問題を扱っている研究が進行中であるに違いない。

短期的な障壁の例) 飛行恐怖症のため飛ぶのを恐れている人々。

長期的な障壁の例) 躁うつ病, 統合失調症

4. ケース (価値の対立の例)



【自立の価値】

自分自身で決定して、自身の方法で物事を行うのが重要であるという信念

対立



【親密な関係の価値】

他者に受け入れられていると感じることが重要という信念。そのため他者の願望と一致させることをかなり必要とする。